学術大会発表要旨作成例

Example of oral presentation abstract for JAHES2025

日本環境共生大学大学院環境学研究科　　　環境　花子

日本環境共生研究センター　　　　　　　　共生　太郎

１．はじめに/Introduction

　本論文では，日本環境共生学会の学術大会発表要旨を投稿する際に書式について記載する．

　本論文の構成は以下の通りである．第2章では論文の体裁（タイトル，著者名，英文タイトル，英文著者名，図表のレイアウト方法，数式の書き方等）について示す．第3章では投稿時に有用な情報の掲載場所を示す．なお、学術大会発表要旨（口頭発表）は2ページとする．このページ数を厳守すること．

Abstracts for oral presentations should be no more than two pages long.

２．論文の体裁/Format

２－１　タイトル，著者名と所属

　タイトルと著者名の余白は，上45㎜，左右28㎜，下25㎜とする．

　タイトルは，MSゴシック体・16ポイント・中央揃えにし，タイトル上部に45㎜の余白を確保する．

　著者名は，所属，氏名の順に記述して末尾が右揃えになるようにし，所属はMS明朝体・12ポイント，氏名はMS明朝体・12ポイントとする．

英文タイトルは，Times New Roman体・12ポイント・中央揃えとする．

　英文著者名は，名・姓，所属の順に記述する．名・姓は，Times New Roman体・12ポイント・中央揃えとする．所属は，Times New Roman体・12ポイント・中央揃えとする．

The title and author's name should be set 45 mm from the top, 28 mm from the left and right sides, and 25 mm from the bottom.

The English title should be written in 12-point Times New Roman font and centered.

２－２　本文の書式/Main text

　1ページ目では，英文著者名に続いて，セクション区切りを挿入する．その後，ページ設定を2段組にし，文字数を片段24文字・40行とし，段間の余白は10㎜とする．余白は左右18㎜，下25㎜，（2ページ目は上33㎜）とする．

各章の見出しはMSゴシック体・10.5ポイント・左揃えとする．第1章の上部には改行は不要だが，下部には1行の空白行を確保する．第2章以降は上下に1行の空白行を確保する．



図1　図の作成例

表1　表の作成例1

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 列1 | 列2 |
| 行1 |  |  |
| 行2 |  |  |
| 行3 |  |  |
| 行4 |  |  |

　本文はMS明朝体・10ポイントとし，英数字はTimes New Roman体・10ポイントとする．本文の句読点は全角の「，」と「．」を，空白は全角の「　」を使用する．

　章の見出しは，「１．はじめに」のように，全角・MSゴシック体・10.5ポイントとする．章の見出しの上下は1行ずつ空白をあける．セクションの見出しは「２－１　タイトル欄」のように，全角・MSゴシック体・10.5ポイントとする．セクションの見出しは上のみ1行の空白をあける．セクションの数字の後ろには全角で1マス空白をあける．

Each chapter heading should be written in 10.5-point MS Gothic font and left-aligned.

The body of the text should be written in 10-point Times New Roman font.

２－３　本文の書式/Format of main text

（１）余白

　2ページ目以降は，余白を上33㎜，下25㎜，左右

18㎜とする．ページ設定は1ページ目後半と同様に2段組とし，文字数を片段24文字・40行とし，段と段の間隔は10㎜とする．

（２）図表/Figures and tables

　表について，タイトルのフォントは，MSゴシック体・10ポイントとする．表中のフォントは原則MS明朝体とする．

　図について，タイトルのフォントは，MSゴシック体・10ポイントとし，タイトルは下部に付ける．図中のフォントは原則MS明朝体とする．

　図・表ともにマージン（余白）からハミ出さないように注意する．1ページに複数を貼り付ける場合は，なるべくページの右上に登場順に並べて配置する．

　The title of figures and tables should be set to MS Gothic, 10 points.

（３）数式/Formula

　複雑な数式は，各種の数式作成ツールを用いて作成することを原則とする．数式は原則中央揃えに配置し，式番号が右端になるよう式と式番号との間にタブを入れる．式番号は(1)，…と通し番号にし，フォントはTimes New Roman・10ポイントとする．



図1　図の作成例

表1　表の作成例1

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 列1 | 列2 |
| 行1 |  |  |
| 行2 |  |  |
| 行3 |  |  |
| 行4 |  |  |

$$X(t)=X(L(t),K(t)) (1)$$

（４）補注と引用文献/Note and reference

　補注は本論文末尾の引用文献の上に位置付ける(補1)．補注の見出しは左揃え・MSゴシック体・9ポイントとし，内容は左揃え・MS明朝体（日本語）・Times New Roman（英数字）・9ポイントとする．引用文献は補注の下に位置付ける1)．

引用文献の見出しは中央揃え・MSゴシック体・9ポイントとし，内容は左揃え・MS明朝体（日本語）・Times New Roman（英数字）・9ポイントとする．文献の英文タイトルは，タイトルケース(title case)とする．オンライン文献は，アドレスと参照日を記入する．引用文献の句読点は半角の「,」と「.」を，空白は半角の「 」を使用する．学術誌等の略称（略号）は使用しない．

原則，引用文献は，次の順番で記入する．

著者名(西暦年): 題目・資料名, 雑誌名・図書名, 巻号情報, ページ情報, 出版社・機関名等, アドレス情報, 参照日情報

補注と引用文献の上には1行の空白を入れる．

３．おわりに/Conclusion

　本ファイルおよび論文の執筆要領など投稿の具体的手順に関しては日本環境共生学会ホームページを参照されたい．また，本論文の著者および引用文献はすべて架空のものである．

補注

(1)補注は，英数字をTimes New Roman・9ポイントで，日本語をMS明朝体・9ポイントで記述する．

(2)この様式は日本環境共生学会ホームページからダウンロード可能である(http://www.jahes.jp/)．投稿の際は最新の様式をダウンロードして使用すること．

引用文献

1) 環境花子・共生太郎 (2012): 日本環境共生学会和文原稿の能率的な書き方, 日本環境共生研究, Vol.10, No.3, pp.201-227

2) Hanako Kankyo and Taro Kyosei (2012): Title, Journal name, 10 (3), pp.201-227